2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　株式会社リベルタ　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　4935　　URL https://liberta-j.co.jp/
代　表　者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 佐藤　透
問合せ先責任者　(役職名) 専務取締役　(氏名) 二田　俊作　(TEL) 03-5489-7661

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	7,424	10.6	△558	－	△601	－	△740	－
2025年12月期第３四半期	6,715	8.5	△97	－	△161	－	△189	－

(注) 包括利益 2026年12月期第３四半期　△740百万円(　-%) 2025年12月期第３四半期　△190百万円(　-%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△23.43	－
2025年12月期第３四半期	△6.34	－

(注) １．潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、１株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
２．2026年１月１日付けで普通株式１株につき普通株式５株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期純損失を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	8,950	1,962	21.8
2025年12月期	7,809	1,592	20.3

(参考) 自己資本 2026年12月期第３四半期　1,951百万円　2025年12月期　1,587百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	10.00	10.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	4.7	△415	－	△500	－	△670	－	△22.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　：　有

新規　1社（社名）　株式会社クレア、除外　1社（社名）　株式会社クレア

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	34,354,200株	2025年12月期	30,262,600株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	153,520株	2025年12月期	138,520株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	31,611,594株	2025年12月期３Ｑ	29,964,195株

（注）2026年１月１日付けで普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ４「１　当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

2026年11月13日（金）に当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における我が国の経済は、高水準の賃上げや底堅い雇用環境に支えられ、緩やかな回復が続きました。企業部門においても、AI・半導体関連需要の拡大を背景に生産や設備投資に持ち直しの動きがみられました。しかしながら、中東情勢の影響による原油価格の上昇や円安を背景とした原材料・エネルギー価格の高騰、食料品・日用品を中心とした値上げの広がりに加え、金融政策の正常化に伴う金利上昇など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループでは「喜びを企画して世の中を面白くする」という経営理念のもと、機動的かつ柔軟に市場の変化に対応し、企画開発やプロモーション、販売、顧客リレーション活動に取り組んでまいりました。

この結果、コスメカテゴリーについては、“目覚めてすぐキスできる”オーラルケアブランド「デンティス」が、会員制倉庫型店舗等への大型配荷やドラッグストア向けの企画品の出荷が貢献し増収となりました。また「つぶぽろん」「himecoto」「マウスマネージャー」は東南アジアを中心に現地での店頭販売の好調が続き、増収となりました。８月に販売を開始した新スキンケアブランド「MEDiLiA（メディリア）」や、新ヘアケアブランド「KAOLKO（カオルコ）」の展開についても増収となり、コスメ商品売上高は3,301,369千円（前年同期比16.8%増）となりました。

機能衣料では、汗と風で驚きの冷感が持続する冷感ウェアブランドの「FREEZE TECH」は、ブランド初のテレビCM放映やデジタル・交通広告を受け、ホームセンター及びゴルフ流通を中心とした販路の拡大と、大手自動車メーカー向けの作業着の大型受注や、テレビCM放映エリア（中京・静岡・広島・福岡）では売上が伸長したものの、前年に比べ猛暑日が少なくPRの機会が想定を下回り、メディア露出回数が大幅に減少したことや、リカバリーウェアブランド「RENERGY（レナジー）」は、前年に販売開始したホームセンターからの返品が発生し減収となり、機能衣料商品売上高は895,169千円（前年同期比1.0%減）となりました。

トイレタリーについては、６月に販売を開始した新商品、排水口洗浄剤「ヌメリトルネード」が好調に配荷拡大したことや、「ニオイトルネード 車用消臭防カビロング」のカー用品・ホームセンター販路開拓、大手チェーンでの年末大掃除プロモーション大型受注獲得など好調要因はあったものの、「さよならダニー」が、一部販路における追加の配荷が後ろ倒しになった影響を受け減収となり、トイレタリー商品売上高は1,248,576千円（前年同期比2.0%減）となりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,424,185千円（前年同期比10.6%増）、営業損失558,389千円（前年同期は営業損失97,961千円）、経常損失601,621千円（前年同期は経常損失161,465千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失740,718千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失189,871千円）となりました。

ジャンル別の売上高の状況は、次のとおりであります。

（単位：千円）

ジャンル	2025年12月期第３四半期	2026年12月期第３四半期	増減率
コスメ	2,825,823	3,301,369	16.8%
トイレタリー	1,273,622	1,248,576	△2.0%
機能衣料	903,846	895,169	△1.0%
浄水器・医療機器	790,483	852,116	7.8%
その他	921,282	1,126,953	22.3%
合計	6,715,059	7,424,185	10.6%

（注）１．前第３四半期連結累計期間に記載しておりました「生活雑貨・家電他」及び「リベート等控除」は、当第１四半期連結累計期間より「その他」に含まれております。

２．一部ブランドにおいてジャンルの変更を行なった影響で、表内の前第３四半期連結累計期間の実績が修正されております。影響額は以下の通りです。

コスメ：△135,296千円、トイレタリー：△142,062千円、機能衣料：+153,086千円

浄水器・医療機器：+161,241千円、その他：△36,969千円

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,141,070千円増加し、8,950,755千円となりました。これは主として、子会社であるファミリー・サービス・エイコーの本社移転に伴う土地建物の売却により、有形固定資産が541,614千円減少、2026年８月７日に開示した「2026年12月期 第２四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異および減損損失の計上に関するお知らせ」の通り、2023 年４月１日に株式を100％取得し完全子会社化し、2024年８月１日付で当社に吸収合併したフジアンドチェリー㈱に係るのれんについて、減損損失を計上したことなどでのれんが59,703千円減少した一方、2026年９月15日に開示した「連結業績予想及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」の通り、売上高が当初の計画を大幅に下回る見込みとなった「FREEZETECH」の仕入などにより、商品及び製品が1,896,356千円増加したことなどによるものです。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ771,010千円増加し、6,987,828千円となりました。これは主として、新規借入により長期借入金（１年内返済予定の長期借入金を含む）が279,106千円、短期借入金が396,257千円増加したことなどによるものです。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ370,059千円増加し、1,962,926千円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が800,967千円減少した一方で、新株予約権の発行および行使により資本金が570,755千円、資本剰余金が590,260千円増加したことなどによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、業績の動向等を踏まえ、2026年２月13日に開示いたしました業績予想を修正し、2026年９月15日に「連結業績予想及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」として開示しております。なお、当該開示時から連結業績予想の変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,200,581	1,578,460
受取手形及び売掛金	2,565,218	1,473,609
商品及び製品	2,248,883	4,145,240
原材料及び貯蔵品	130,453	164,094
その他	236,124	676,413
貸倒引当金	△248,448	△248,514
流動資産合計	6,132,813	7,789,303
固定資産		
有形固定資産	715,027	173,412
無形固定資産		
のれん	414,377	354,673
その他	267,483	275,899
無形固定資産合計	681,860	630,573
投資その他の資産	279,983	357,464
固定資産合計	1,676,870	1,161,451
資産合計	7,809,684	8,950,755

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,004,487	1,176,446
短期借入金	2,403,742	2,800,000
１年内返済予定の長期借入金	860,372	667,631
未払法人税等	130,498	8,939
資産除去債務	－	74,538
その他	780,604	782,590
流動負債合計	5,179,704	5,510,145
固定負債		
長期未払金	63,083	63,083
長期借入金	852,136	1,323,983
リース債務	3,442	1,769
製品保証引当金	7,600	7,000
退職給付に係る負債	71,790	76,382
資産除去債務	39,062	5,465
固定負債合計	1,037,113	1,477,683
負債合計	6,216,818	6,987,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	215,601	786,357
資本剰余金	408,628	998,889
利益剰余金	972,104	171,136
自己株式	△11,369	△7,364
株主資本合計	1,584,965	1,949,019
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,292	2,537
その他の包括利益累計額合計	2,292	2,537
新株予約権	5,609	11,368
純資産合計	1,592,866	1,962,926
負債純資産合計	7,809,684	8,950,755

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	6,715,059	7,424,185
売上原価	3,992,795	4,414,652
売上総利益	2,722,264	3,009,533
販売費及び一般管理費	2,820,225	3,567,922
営業損失（△）	△97,961	△558,389
営業外収益		
受取利息	665	3,050
為替差益	－	11,583
その他	3,488	6,054
営業外収益合計	4,154	20,688
営業外費用		
支払利息	32,235	50,654
支払保証料	6,302	10,291
為替差損	27,131	－
その他	1,989	2,974
営業外費用合計	67,659	63,920
経常損失（△）	△161,465	△601,621
特別利益		
固定資産売却益	－	54,159
特別利益合計	－	54,159
特別損失		
固定資産除却損	1,068	－
店舗閉鎖損失	6,068	－
減損損失	－	71,207
特別損失合計	7,137	71,207
税金等調整前四半期純損失（△）	△168,603	△618,669
法人税、住民税及び事業税	54,354	19,677
法人税等調整額	△33,085	102,372
法人税等合計	21,268	122,049
四半期純損失（△）	△189,871	△740,718
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△189,871	△740,718

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純損失（△）	△189,871	△740,718
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△284	244
その他の包括利益合計	△284	244
四半期包括利益	△190,156	△740,473
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△190,156	△740,473

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、当第３四半期連結累計期間において、前連結会計年度末に比べ第７回新株予約権（行使価額修正条項付）の権利行使に伴う新株の発行により、資本金が570,755千円、資本準備金が570,755千円増加しております。

この結果、当第３四半期連結会計期間末において、資本金が786,357千円、資本剰余金が998,889千円となっております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	78,296千円	150,179千円
のれんの償却額	75,928 〃	76,611 〃

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループは各種オリジナル商品等の企画販売を行う事業の単一セグメントのためセグメント情報の記載を省略しております。